

(様式3)

平成28年度 学力向上マニフェスト

荒川区立赤土小学校

本年度の指導の重点 (昨年度の成果と課題を踏まえて)	取組の概要 (実施内容)	評価指標 取組指標 (教師側指標) 成果指標 (子ども側の指標)
授業力の向上	<ul style="list-style-type: none">・校内研究の充実・外部講師の招聘・特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none">・校内研究の充実、OJT等の校内の研修を充実させ、授業力の向上及び特別支援教育の充実を図る。・学校図書館の利活用に関する講演会を2回、研究授業を年間6回実施し、講師の指導を受け指導力の向上を図る。・全教員が授業を公開して学び合い、授業力の向上に努める。 ○授業を工夫し、分かるできる学びが行われることにより、学習することが楽しいと感じる児童を80%以上にする。
基礎学力の定着1	<ul style="list-style-type: none">・算数習熟度別指導の充実・電子黒板・TBPの活用・自学学習の推進	<ul style="list-style-type: none">・算数習熟度の教室でもICTを活用した指導を展開し、算数の基礎・基本の一層の習熟を図る。日々の小テスト、ベーシックドリルを活用し基礎・基本の理解の徹底を図る。 ○区学力調査の算数で、3年生以上は全て、区の平均を上回る。
基礎学力の定着2	<ul style="list-style-type: none">・復習(くり返し学習)の推進・くり返しスキルプリントの活用	<ul style="list-style-type: none">・力試しの問題から実態に応じて、フォローアップやチャレンジができるように個に応じた指導内容を充実させる。 ○授業や補修学習及び家庭学習で、自分に合った問題でくり返し学習を行い、基礎的内容の理解度を80%以上確実に身に付ける

【評価】 成果指標の達成度から評定(A・B・C)を決める

A: 達成度90%以上 → 目標達成と見なし新たな目標を設定する B: 達成度が9割未満5割以上 → 継続実施 C: 達成度が5割未満 → 目標の見直し

予算執行	取組の成果	評価